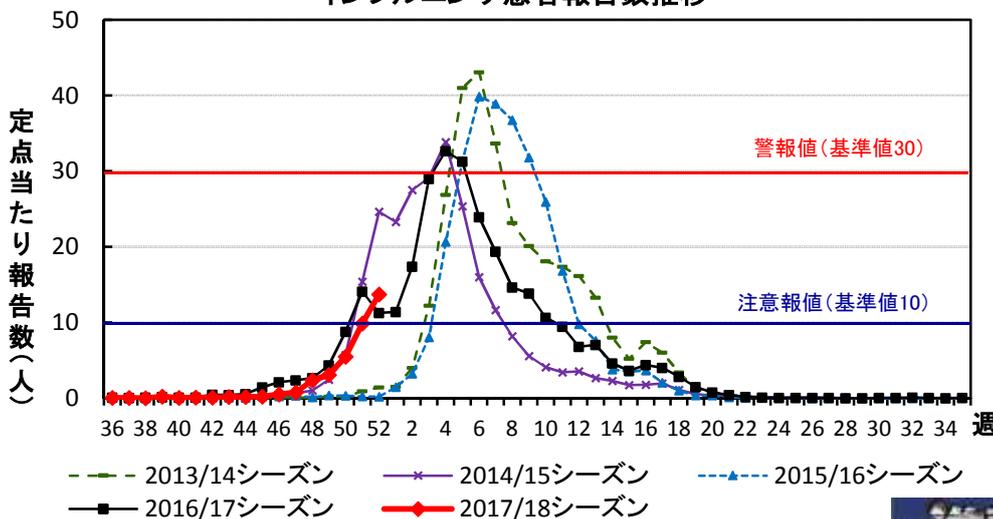


インフルエンザ**注意報発令!**

◆ 県内の最新の流行状況 2017年第52週 (12月25日~12月31日)

- 県全体で1医療機関当たりの患者報告数(13.70)が注意報値(基準値10)を上回り、県内でインフルエンザ注意報が発令されました。
- 地域別では、富岡地域(25.33)、太田地域(22.60)、利根沼田地域(19.67)、安中地域(16.67)、高崎市(13.47)などから多くの報告がありました。
※ ()内: 定点当たり報告数(人)、1医療機関当たりの患者報告数のこと。
- インフルエンザ様疾患による学校の臨時休業(学級閉鎖等)の報告も、年末にかけて増加しています。
- 定点医療機関からの報告では、A型及びB型が流行しています。

インフルエンザ患者報告数推移



地域別報告状況(第52週現在)
※ 橙色は、注意報値以上の地域

◆ かからないためには?

- できるだけ不要不急の外出は控えましょう。
- できるだけ人混みを避けましょう。
- 石けんでの手洗いを励行しましょう。
- 十分な睡眠と栄養をとりましょう。

◆ うつさないためには?

- 咳などの症状がある人は、咳エチケットを守りましょう。
- 咳・くしゃみをするときは、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、周囲の人から顔をそむけましょう。
- 使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨て、手を洗いましょう。
- 医療機関を受診する際には、必ずマスクを着用しましょう。



啓発ツール「進撃の咳エチケット」
(厚生労働省ホームページからダウンロードできます)

★ 県内のインフルエンザの詳しい情報はこちら:
<http://www.pref.gunma.jp/02/p07110015.html>